

よなごびと

| 第65回 |

NPO法人 夢蔵プロジェクト

かとう ぶんじ
加藤 文治 さん (写真右)

えんどう まなぶ
遠藤 学 さん (写真左)



” 貴重な建築物を残し

まちの活性化につなげたい

“

飲食店が軒を連ねる角盤通り沿いで目を引く、ミニトグリーンの外壁のレトロな洋風建築。昭和10年に建てられた旧角盤町郵便局舎は、およそ90年の時を経て、地域の交流拠点「YORAIYA（ヨライヤ）角盤」として生まれ変わろうとしています。

この取り組みを進めるのは、NPO法人・夢蔵プロジェクト。建築士などの有志からなり、これまでも加茂川沿いの白壁土蔵群の1つを再生するなど、城下町を拠点にまちづくりを進めてきました。旧角盤町郵便局舎は、昭和59年に郵便局が移転した後、書店「角盤文庫」として親しまれてきましたが、老朽化による取り壊しの話が浮上し、閉店。肩を落とす店主に「自

分たちが何とかするから」と伝えたという理事長の加藤さん。「まちのシンボルである貴重な建築物を残したい」と所有者と交渉し、建物の無償譲渡を受けました。

資金は県と市の補助金を活用し、クラウドファンディングも実施。未永く後世に残すため、耐震補強を施しながら建築時の意匠をできる限り復元し、国の有形文化財への登録をめざします。1階には木の温もりを感じるカフェスペースとキッチン、2階には二間続きの和室が備えられ、チャレンジショップやレンタルスペースとして利用できます。副理事長の遠藤さんは「誰でも気軽に立ち寄れる交流拠点として、まちの活性化につながれば」と期待を込めます。



4月20日の郵政記念日にオープン予定。



カフェやイベント、自習スペースとしても利用できる。旧郵便局にちなみ、地域課題解決のアイデアや意見を集めるポストも設置。